

アカシア探検隊

ブロードバンド時代へ
ようこそその巻

甲..最近アカシアの若いモンに元気がないゆう意見が多いのう。

乙..ええ、以前登場願った諸先輩方もおっしやってましたね。

甲..そこでよ、30代ぐらいで元気なアカシアメンバはおらんか？例えばイット関係のベンチャー起業家とか。

乙..イット？アイティー（IT）でしょ。

甲..おお、それぞれ。

乙..それなら、ピッタリ、バッチリの人がいますよ。一緒にイスタビュアしましょう。

甲..難しいな単語がヨーケ出てきそうじゃやえ、お前一人でやれ。

と、いうことで、今回は75回卒業の湯崎英彦氏の登場です。

湯崎氏は、東大法学部卒。通産省入省後、スタンフォード大学のMBAを取得。10年勤務した通産省を2000年3月に退職し、株式会社アカ・ネットワークスを設立。ブロードバンド時代の旗手として注目されています。

今回のインタビューは、多忙な湯崎氏のスケジュールの合間を縫

い、アカ・ネットワークスが提供する高速回線を媒体としたインターネットテレビ会議方式を採用して行われました。

乙..お忙しいところ有難うございます。まずは現在の事業内容を簡単に教えていただけますか？（ITを「イット」って読む人間もいるから）

湯..我社は、日本の主要経済圏において、従来のメタル回線（銅線）を利用したDSL（Digital Subscriber Line デジタル加入者線）を始めとする広帯域新技術を用い、インターネット及び企業内ネットワーク等に対するブロードバンド・ローカルアクセスサービスを提供することを主たる事業として提供しています。加えて、アクセスサービスに留まらず、コンテンツデリバリー等、付加価値の高いサービスを提供することを目指しています。

その方向性の中、現在はNTT地域会社の一般加入者メタル回線を利用した高速アクセス技術であるDSL技術による通信サービスの提供・拡大に注力しています。

乙..要するに、インターネット接続や遠隔地の企業内通信を行う際の高速度回線を広く一般に提供する事業ですね。ところでDSLってなんですか？

湯..DSL技術というのは、通常のメタル電話回線のうち、通話のために使用していない高い周波数

帯を使用することにより、高速なデータ通信を実現するものです。通話とは異なる帯域を利用することにより、通話との同時利用が可能で、また、電話交換機を通さないことから、定額料金すなわち常時接続の環境を、従来よりも低料金で提供することが可能となります。

乙..「ADSL」って言葉を良く聞くんですが、違いは何ですか？

湯..ADSLもDSL技術の一つで、非対称型加入者線と呼ばれています。上りと下りの伝送速度が異なるため非対称と呼ばれています。その他にもSDSL、VDSLと呼ばれるものもあります。

乙..今後の事業展開はどのようにお考えですか？

湯..総合的な地域通信ネットワーク・サービスを提供するという目的のもと、国内における広帯域通信市場の成熟状況を見極めながら、ユーザーのニーズを先取りする形で事業展開していくつもりです。

DSLは低コストで安定した技術として市場からの期待が高く、光ファイバーが普及してきた現在も当面は共存していくものと考えられます。当面はDSLを事業展開の柱と位置付けながらも、他技術を巡る動向には迅速に対応していきます。特に光ファイバーに関しては、現在、光アクセスサービスを提供中であり、今後、FTTB

(Fiber To The Building) からF



TTT (Ether To The Home) までを含め、積極的に導入する方針です。長期戦略として事業エリアを「地域ネットワークを核にしたマルチレイヤ通信サービス」と位置付け成長を図るつもりです。

乙..もう一つと簡単に言うんですけど、まあ、事業の目標として言えば「最高レベルのネットワーク技術とオペレーションにより、全体的にお客様がブロードバンドを享受することを可能にする」「情報技術の利用による日本の産業、経済、社会、個人生活の質的向上に寄与する」ということになりま

す。その目標達成の為に、アカ・ネットワークスはブロードバンド・ネットワーク・サービスの分野においてリーディングカンパニーになることを目指しています。

乙..つまり、アカ・ネットワークスは、「コミュニケーションサービス企業として、高水準のサービスを創造・提供し、企業や個人がより優れたコミュニケーション手段を利用して、課題の解決や夢の

実現を図ることを手助けする」ことで事です。

湯..ええ、そのとおりです。乙..最近のホットなニュースは？

湯..最大12MbpsのADSLサービスを開始しました。8Mbpsサービス(10Mbps対応)に比べ、全体的に実効約500kbps以上の速度アップです。他社が提供する12MbpsのADSLサービスよりも、実効速度は速いはず。このインターネットテレビエンタビュも全然ストレスがないでしょ？

乙..家庭のテレビ付インターネット..また、サービス提供範囲の拡張もいたしました。最大線路距離を約7kmに延長したんです。今までADSLが利用できなかった、NTT取寄局からの直線距離が4kmを超えるお客様も利用可能です。詳しくは、弊社のホームページ <http://www.acca.net.jp> を見ていただけたらとありがたいです。

乙..話は変わりますが、バリバリのキャリア官僚をスッパリやめて起業を決心させたものって何ですか？

湯..んー。やっぱり確信が持てたからでしょうね。旧通産省時代に米国に向向していた時に「日本も必ずネット接続は定額制になる」と思ったんです。また、留学・出向と2回に分けて、黎明期と隆盛期の両方を見られた事も確信を深めてくれましたね。

